



放課後に、まちがある 地域が教室になる、新しい部活動のかたち

2026年度から兵庫県で始まる「地域展開（移行）」は、部活動を学校から地域に引き継ぐという、教育の大きな転換点です。これまで学校が担ってきた放課後のクラブ活動を地域の人や団体が支える。つまり、「学ぶ場所が変わる」のではなく、「まちそのものが学び場になる」新しいクラブ活動のはじまりとも捉えることができます。放課後の学びの場が、学校の外へ――。

こうした流れを受け、20歳代から60歳代までの多世代メンバーが集まり、一般社団法人「大空への未来の翼」を2025年4月に設立しました。

現在は中学1年生10名が在籍。地域とつながりながら、あくまで「部活動」としての楽しさや仲間づくりを大切に、教科書だけでは学べない「わくわくする体験」を通して、新しい「放課後の部活動のかたち」を進めています。2025年9月からはプレセミナーを開催し、生成AI講座、宝塚のまち歩き、模擬店の基礎運営など、多様な学びを行ってきました。中学生たちは地域に出て実際に手を動かしながら、社会のしくみや地域経済を体験的に学んでいます。

中学生店長の部活動を見に行こう！ 宝塚Uganまつりで小6・中学生へ見学歓迎

そして現在、中学生自身が「店長」として取り組む模擬店プロジェクトが本格的に動き始めています。11月23日（日）に開催される地域の秋祭り「宝塚Uganまつり」への出店を目指し、原価計算、利益の仕組み、商品企画、価格設定、販売促進の広告POPづくりまで、準備のすべてを自らの手で進めてきました。話し合いの結果、「なんちゃってたこせん」「ボディージュエリー」「コイン落とし」の3店舗が決定し、屋号（店名）は当日の発表となります。

活動を支えるのは、社会の現場で活躍する若手社会人と、地域を熟知したベテラン世代。多世代のメンバーが協力し、子どもたちの主体的な部活動を後押ししています。

当日は、中学生が店長として企画・運営する新しい部活動の様子を直接ご覧いただけます。特に小学校6年生や現役中学生の皆さんに見てもらいたい内容です。保護者の方もぜひ一緒に、活動中の部員や支えるメンバーから話を聞きながら、部活動の空気を感じてみてください。

